

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2026年度)

専門分野区分	パソコン活用	科目名	アクセスⅡ				科目コード	T1600B3		
配当期	後期	授業実施形態	通常				単位数	2 単位		
担当教員名	武田 春美	履修グループ	2F(B1)				授業方法	演習		
実務経験の内容	資材メーカーのシステムエンジニアとして、5年間にわたり在庫管理システムの開発・運用業務を担当した。その後、ITコンサルタント企業で顧客の販売管理システムの開発・運用業務を6年間実施した。これらの経験を生かし、実務に必要な表作成、関数、データ管理機能について実践的に授業展開を行う。									
学習一般目標	前期に引き続き、データベースソフトウェアAccessの操作習得をめざす。授業では、データベースの応用知識を身につける。実用的なAccessデータベースについての理解の習得を目的とする。									
授業の概要および学習上の助言	毎回教科書に従い、データベースの作成を、説明を受けながら実習する。次に、応用としてプリント課題を出題するので、教科書を参考にしながら、各自で課題を作成していく。実習しながら、アクセスの操作と周辺知識を習得してほしい。									
教科書および参考書	よくわかる Microsoft Office Access2021 応用									
履修に必要な予備知識や技能	前期の学習内容 (Access2021基礎の知識)									
使用機器	パソコン機器									
使用ソフト	Microsoft Access									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	データベースやAccessの基礎知識を理解する Accessの応用編集を理解し、操作できる								
	1/4	Accessのオブジェクト(テーブル、クエリ、フォーム、レポート)を作成できる Accessの基本オブジェクトの応用的な編集ができる								
	3									
	4	各オブジェクトを活用したりレシーショナルデータベースを作成できる 各オブジェクトの各種ビューを使用して、応用的な編集ができる								
	4	実習と課題作成に意欲をもって取り組みことができる								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解					20		20	40
		2.思考・判断								
		3.態度								
		4.技能・表現					60			60
		5.関心・意欲								
	総合評価割合						80		20	100
評価の要点										
評価方法		評価の実施方法と注意点								

試験	
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	テキスト演習とプリント課題の提出(毎回)
ポートフォリオ	
その他	授業への出席、取組みなどを含め総合的に判断する

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	アクセス I の復習 前期の学習内容の復習(アクセス基礎)	実習	課題1
第2回	第1章～第3章 会員管理データベースの概要、テーブルの活用、リレーションシップと参照整合性 テーブルの関連性が理解できる。	実習	課題2
第3回	第4章 クエリの活用 前期のクエリより応用的なクエリの作成が可能になる。	実習	課題3
第4回	第5章 アクションクエリと不一致クエリの作成 レコードやテーブルを更新させるクエリが作成できる。	実習	課題4
第5回	フォームの活用 前期のフォームより応用的なフォームが作成できる。	実習	課題5
第6回	第6章～第7章 フォームの活用、メイン・サブフォームの作成 応用的なフォームや、2つのフォームを組み合わせたフォームの作成ができる。	実習	課題6
第7回	第9章 メイン・サブレポートの作成 2つのレポートを組み合わせたレポートの作成ができる。	実習	課題7
第8回	第10章 レポートの活用 応用的なレポートが作成できる。	実習	課題8
第9回	第11章 便利な機能 データベース保守などに関する便利な機能が理解できる。	実習	課題9
第10回	総合問題① 宿泊予約管理データベースの作成 テキスト内容を総復習して、理解を深めることができる。	実習	課題10
第11回	総合問題② アルバイト勤怠管理データベースの作成 テキスト内容を総復習して、理解を深めることができる。	実習	課題11
第12回	マクロ ① よく使う機能を、マクロとしてボタンなどに登録することができる。	実習	課題12
第13回	マクロ ② 画面遷移や入力処理など、いろいろな操作がマクロ化ができる。	実習	課題13